

あかし

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 電話<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 電話<0569>35-2861

クロスメディアを総合力でプロデュースする
PTC.GROUP
半田中央印刷株式会社
〒475-0032 愛知県半田市潮干町1番地の21
TEL 0569-29-2525(代) FAX 0569-29-4500
<http://www.handa-cp.co.jp>

企画・制作：株式会社新聞ビル

元気のでてくる“ことばたち”

242

村上信夫

撮影・中川真理子



Nobuo Murakami

「白駒妃登美さんは、博多の歴史と呼ばれる。飛び切りの笑顔で、わかりやすく話す歴史のエピソードが好評で、講演依頼が引きも切らない。」
東京オリピックの開かれた1964年、埼玉県に生まれた。両親が自営業だったので、あまり構ってもらえなかった。日が暮れるまでは外で友達と遊び、家に帰ってきてからは「伝記もの」を読み耽った。キューリー夫人やファープルも読んだが、いちばんワクワクしたのは、吉田松陰や西郷隆盛など日本の偉人伝だった。そして彼らは一番の親友になった。「あなたの気持ちわかるわあ」「私も頑張るね」彼らと対話していたそう。

「普通は三色限定だと個性がなくなって、みんな制服みたいになってしまおうと思うんですが、粋な江戸っ子は三色の中で自分らしさを極めようとした。微妙な色の違いで、茶色、鼠色それぞれ一〇〇色以上あったそうです。「その色はナント力鼠だね」とかいって楽しんでんだ。」
「団十郎が好んだ茶色を団十郎茶、千利休が好んだとされる利休鼠、ほかに、桜鼠とか自然界からとった呼び名も多いです。また、表からは見えない着物の裏地に高価な絹を使ったり、鮮やかな色を用いたりしたそうです。見えないところに贅を凝らすとか、日本人の遺伝子には、そういうものを嗜好する何かがあるのかもしれないね。」

希望を抑えきれない

白駒 妃登美さん

絶望の淵にあつたとき、ピンチに陥つたら、歴史上の人物と対話していたことを思い出した。その時、対話相手に現れたのは、中学生の頃からの愛読書『坂の上の雲』に描かれた正岡子規だった。

「本日の覚悟とは平然と死ぬことではなく、どんな苦しみの中でも一瞬一瞬を平然と生きることだ」と悟っていた。
子規の生き方を思い起こし、平常心を取り戻した。「たとえ1年後に命がなくなろうとも、いまは生かされているわけだから、泣き暮らすのはやめ、今を精いっぱい生きよう」と考えるようになった。すると未来への不安が消えたら、がん細胞も消えて「奇跡の回復」を果たしたのだ。
歴史上の人物の過去にも理不尽なことは

あった。だが、歴史を紐解くと、「未来のために苦難があつた」と考えられることが多い。「自分の病気も、私の未来のためにわざわざ来てくれたんだ」と思えるようになった。そして、「湧きあがる希望を抑えきれなくなつた。」

江戸に教わる
先日、江戸深川資料館で、江戸をテーマに鼎談したとき、白駒さんをお招きした。最初、山本一力さんの話に聞き入っていたが、着物の話になると俄然スイッチが入った。江戸時代の庶民は着るものの色が決まっていた。徳川幕府は、庶民が着るものの生地を指定した。綿か麻しか着てはいけない。

「そんな低い確率なのに、時代劇は大げさですよ。江戸の町には一〇〇万人を超す人が暮らしていたのに、いまでいう警察業務に携わっていた人がものすごく少なくて、殺人事件もほとんどなかったそうです。」
古事記を読むと「知らず」という言葉が出てくる。これは力づくで相手をねじ伏せるのではなく、慈しみや愛の力をもって民を治めるといふ意味で、天孫降臨の際、アマテラス



俳画/イネ・セイミ

「和をもって尊し」となってきた。日本人は仇打ちにしても、どこかに惻隱の情があり、殺したほうは死者に弔いの気持ちを示した。白駒さんは「先のことばはまったく悲観していません。例えば、新幹線のお掃除が停車中の七分間ですべて終わられるのは奇跡だ、世界的に有名になりました。もちろんお掃除チームもすばらしいんですが、これは日本人みんなが起した奇跡だと私は思っています。もしも乗客が車内を汚し放題だったら、七分では終わりません。みんながきれいに使っているからできること。そんな日本人がもつ美德を多くの人が自覚すれば、先は明るいと思います」と笑顔で言い切った。

「三ギョノミコトに言ったとされている。日本人はその神話を信じ続けた。リーダーたちは品性を磨いて徳を積み、だから民はリーダーに甘えることができた。それが神話の時代から脈々と続いてきた。日本人は「和をもって尊し」となってきた。日本人は仇打ちにしても、どこかに惻隱の情があり、殺したほうは死者に弔いの気持ちを示した。白駒さんは「先のことばはまったく悲観していません。例えば、新幹線のお掃除が停車中の七分間ですべて終わられるのは奇跡だ、世界的に有名になりました。もちろんお掃除チームもすばらしいんですが、これは日本人みんなが起した奇跡だと私は思っています。もしも乗客が車内を汚し放題だったら、七分では終わりません。みんながきれいに使っているからできること。そんな日本人がもつ美德を多くの人が自覚すれば、先は明るいと思います」と笑顔で言い切った。」

フルート奏者として活躍中。俳画家。絵画を幼少より日展画家の(故)川村行雄氏に師事。俳画を華道彩生会家元(故)村松一平氏に師事。俳画の描法をもとに、少女猫等を独自のやさしいタッチで描いている。個展多数。

俳画教室開講中
とき 常滑屋
とき 俳画教室月一回 午後一時三十分〜三時三十分
会費 一回 二、一五〇円(三ヶ月分前納制)
問合せ 電話〇五六九(三三)〇四七〇

インディアン
フルート教室
開講しています。
誰でも簡単に音が出来る楽器です。
あなたも今日からインディアン。
マツイン染織店
ミュージックガーデン武豊
開講日(月2回)
10:00~11:00
会場 グループ
会費 1ヶ月8,800円(入会金5,400円)
詳しくはマツイン染織店本社 教室係まで
フリーダイヤル:0120-37-5576

講師 **イネ・セイミ**
(日本インディアンフルートサークル協会フェルター) ネイティブアメリカンのスピリットが感じられるインディアンフルート。その音色はやさしく心に響きます。11レッスン・30分4,000円 会場・半田市市場町4丁目
申込み 0569-89-7127
お問い合わせ ine.seimi.jp@gmail.com

好評発売中

人は、ことばで磨かれる

インディアンフルート対談!

「普通は三色限定だと個性がなくなつて、みんな制服みたいになってしまおうと思うんですが、粋な江戸っ子は三色の中で自分らしさを極めようとした。微妙な色の違いで、茶色、鼠色それぞれ一〇〇色以上あったそうです。「その色はナント力鼠だね」とかいって楽しんでんだ。」

「普通は三色限定だと個性がなくなつて、みんな制服みたいになってしまおうと思うんですが、粋な江戸っ子は三色の中で自分らしさを極めようとした。微妙な色の違いで、茶色、鼠色それぞれ一〇〇色以上あったそうです。「その色はナント力鼠だね」とかいって楽しんでんだ。」

私の出会った作品 (30) 杉本武之

『三子解良重』
『良寛禅師奇話』
良寛さんという人

良寛という江戸後期に生きた禅僧に興味を持ったのは、今から60年ほど前のことでした。何か、とんでもない不思議な魅力を持った人物のようには思われたのです。大学生になった私は、良寛に関する本を読もうとしました。しかし、当時は初心者向きの適当な入門書がありませんでした。そこで、岩波文庫の『良寛詩集』を古本屋で買って来て読み始めました。少しも理解できず、読んでいました。読むのを諦めました。

私が30歳になった時、唐木順三の『良寛』が出版されました。素晴らしい本でした。この本のおかげで、私は良寛に近づく糸口を見つけた。読むのを諦めた。

その時から現在に至るまで、私は良寛という人間を理解しようと努力して来ました。そして、研究を続け、自分なりに分かった事を苦心してまとめて出版して来ました。「慈愛の人・良寛」「白い雲」「手まりつきつ」「慈愛の風」などです。長い間、良寛さんの人間像を追い求めて来ました。しかし、良寛という人は想像を絶する深遠な人間です。簡単に把握できるような人ではありません。分かったと思う時もありましたが、それは良寛さんのほんの一部が分かったにすぎませんでした。私の良寛理解への試みは、「群盲象を撫でる」のようなものでした。今では、良寛の全体像を把握することは私には殆ど不可能なことだと諦めています。



良寛像(著者画)

しかし、良寛さんのような人間になりたいという願望は、常に持っています。良寛という、実につかみどころのない人間を少しでも理解しようと思

その三男が解良重で、良寛よりも52歳年下です。良寛が74歳で亡くなった時には、まだ22歳の青年でした。しかし、良寛は解良家に気軽に出入りしていたので、聡

なつた良寛は、若い頃に大きな感化を受けた良寛について、自分が直接見聞した事柄や、他人から聞いた事柄などを集めて記録しました。それが『良寛禅師奇話』で、全部で58編のエピソードが綴られています。

今から、『良寛禅師奇話』の幾つかの章句を読んでみましょう。簡潔な表現で良寛の人間像が見事に描かれています。

『良寛禅師奇話』
一「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

明な少年・良寛のことによく知っていました。良寛も不思議な老人。良寛の言動を身近に見たり聞いたりして、良寛の親友に解良叔問という庄屋がいました。

『良寛禅師奇話』
二「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
三「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
四「師、能ク人ノ為ニ病ヲ看、飲食起居ニ心ヲ尽ス。又、能ク按摩シ、又灸ヲ握ウ。人、明日我が為ニ灸ヲセヨト云フ。師、明日ノコトト云ヒテ、敢テ諾セズ。輕諾、信少キガ為カ、又、生死、明日ヲ期セザルノ故カ」
(大意) 良寛禅師は、托鉢の途中でも、病人がいると聞くと、看病したり、その病人の飲食や日常生活の様子に気を付けていた。また、疲れた人には按摩をしてあげたり、お灸を握ってあげていた。人から「明日もまた来て、お灸を握えてくれないか」と言われたら、「良寛禅師は「明日のことは……」と言葉を濁して快諾することはなかった。軽々しく約束するのは信用の置けない行為ということなのか、あるいは又、自分が生きていくのか死んでいるのか、明日になつてみないと分からない、という理由か

『良寛禅師奇話』
五「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
六「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
七「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
八「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
九「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
十「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
十一「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

『良寛禅師奇話』
十二「師、常二黙々トシテ、動作閑雅ニシテ、余リ有ルガ如シ。心広ケレバ体ユタカ也トハ、コノ言ナラン」
(大意) 良寛禅師はいつも口数が少なく、動作が閑雅で、余りあるが如し。心広ければ体も豊かである、この言はラン

この指とまれ (273) 氏原朝信

昭和53年度 常滑小学校五年三組「ななかま」

今回は「常滑おやこ劇場」での「とつておきの思い出(1)」をします。

活動の昼の部と夜の部
昼間の私は五年三組の担任として学校に勤務です。お母さんたちはパワフル全開で会員集めに奔走の日々が続いていたのです。学校から事務所に行ってみると「今日は40名入ってました」と、感嘆と称賛の声で報告してもらっていました。また、例会等のポスターに教育委員会の後援やポスター貼りの許可をもらうための交渉を、お母さんたちがやっていました。夜の部は、小学校の子持

ちのお母さんたちが中心となり、運営について話し合いをもっていました。8時頃になると決まって電話をかけてくるお母さんがいて、電話に話をつけていくのがまた楽しみの一つだったようです。事務所にいる前に家族の夕飯の支度をして集まっていたことを聞き、ただただ頭の下がる思いでした。

おやこ劇場つてなかに
おやこ劇場とは親子で劇をするのと思っている方がいるのではないのでしょうか。この活動の目的は、テレビの映像では味わえない生の舞台芸術を親子で鑑賞したり、他の親子と自主的に活動したりすることを通して子どもたちの感性を豊かに育てることでした。でもすぐには理解してもらえないとができたために「名古屋に演劇を家族4人で見に行く」と3・4万円はいるけど一人月々3000円の会費を払って4カ月で一回常滑で演劇や歌などを鑑賞できるのがおやこ劇場なんです。また、常滑だと普段着で行けるしね」という主婦のひらめきで会員を集めたのでした。

お母さんたちの活躍
例会時の託児や幕間時の遊びなどを引き受けてもらった5人のお母さんたちが

長澤晶子のSPEED★COOKING!

インスタ映え パラ鍋

皆で集まるホームパーティにおすすめの鍋料理。今年インスタ映えする盛りつけですヨ!

【4人分】

材料

- 豚うす切り肉...400~500g
- 大根...1/4本(皮をむいておく)
- にんじん...太め2/3本(皮をむいておく)
- 白菜...1/4カット(洗って4cm幅に切る)
- えのき...1束(石づきを切り落とす)
- 水菜...1/4束(根元を切り落とし4cmに切る)

つゆ 水1ℓ、白だし100cc、塩適宜

作り方

- ①②はロールしやすいよう、長手方向にスライサーでなるべくうすくスライスし、高さが4~5cmになるよう巻いていく。
- ③④も高さが4~5cmになるようにロールして巻く。
- ⑤鍋を用意し鍋底に白菜を敷き詰めその上、大根→①→にんじん→えのき→水菜の順に色彩よく鍋に並べていく。たおれないようしっかり鍋に差し込んでいく。
- ⑥⑦の上からゆづりつゆを注ぐ。
- ⑧⑨の鍋にふたをし中火でゆづり10分ほど煮て肉に火が通ったら出来上がりです。

☆簡単に鍋の素でも良いですよ

- 常滑市民文化会館
平成三十年年度重要無形文化財「組踊特別鑑賞会」一日出 開場午後一時半 開演 午後二時
入場無料(要整理券) 問合せ 生涯学習スポーツ課 44600(稲葉)
- ピア発表会クリスマスコンサート
八日(前売り) 開場 午後五時 開演 午後六時 入場料 800円
6961717(9)事務所
- Andanteピアノコンサート
二十四日(月) 開場 午前四時 開演 午前六時
問合せ 愛知県立常滑高等学校クリエティブデザイン科 431151(澤田)
- 神原澄香「パーアート」作品展
十一月(日) 二十三日(日) 午後九時(最終日同時)まで 午後のギャラリ 問合せ 半田少年少女合唱団 08006961717(9)事務所
- 関係者のみ 問合せ 常滑市立鬼崎中学校 420221(林)
- 常滑市ユニオン吹奏楽団 第十七回定期演奏会(十六日) 開場午後一時 開演 午後一時半 常滑市ユニオン吹奏楽団事務局 09067633077(井上)
- 半田少年少女合唱団 第四十回定期演奏会(二十三日) 開場午後二時 開演 午後二時十五分 入場料 八百円(前売り) 問合せ 愛知県警察本部少年課 05219511601(浅井)
- 平成三十年年度常滑高等学校クリエティブデザイン科生徒作品展(七日) 九日(日) 七日(日) 午前九時 午後七時 八日(日) 午前九時 午後五時 九日(日) 午前九時 午後三時 第一・二展示室 あなたのギャラリ 問合せ 愛知県立常滑高等学校クリエティブデザイン科 431151(澤田)
- 神原澄香「パーアート」作品展(十一日) 二十三日(日) 午後九時(最終日同時)まで 午後のギャラリ 問合せ 半田少年少女合唱団 08006961717(9)事務所

少人数での家族葬専用ホール 2018年11月オープン

大阪屋リビング 常滑

誠意を込めて安心のお手伝い

大阪屋葬祭

常滑ホール 鬼崎ホール 阿久比ホール

TEL0569-35-4949

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン

(有)知多エッグ

知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

新シリーズ ヒューマンライフ

『新・現代家庭考』 就職

—自分ドラマつくろう— (92) 岡田 清治

姪の就職2

「だいたい日本語の字は複雑すぎるよ。日本人にもね」
「その点、アルファベットは楽だよな」
「それにしてもパソコンでよくぞワードをつくってくれました」

「そうだよな。ノーベル賞ものだと思うね」

「いずれにしてもインターネットの弊害はあるが、便利になったものですね」

「弊害と言えば、ゲーム中毒も心配なようですね」

「そのようだね」

「私の息子のころに流行りだしましたが、家ではゲームを買っていなかったの、息子は友達の家でやらしてもらったようで、中毒にならずにすみましたね」

「中毒になると、回復するまで大変ですね」

「私も一緒にいるといえますね」

「漢字への交換は大半が訓読みで行うが、「春」とか「夏」のように音訓両方とも変換できる。知っている漢字でも訓読みがわからないと、辞書に相談するので時間がかる。息子も自分なりの漢字を打ち込んで登録しているが、多少、漢字の勉強になっているように見える」

「真三は息子と話し合う。」

「僕にもやらせて…」

「富士山はまだ登録していないね」

「まだだよ」

「最後に登録リストを見せてよ」

「登録を終了すると、これまで入力した単語、熟語がすべて画面に現れる。」

「これ僕の漢字だ」

「まだ全部で423個か、少ないね」

「この程度の単語数では文書作成の場合、便利だと思うまではいかない。字数だけでも3千もあるのだから万のオーダーにならないとダメなんだろうと思う。」

前島とママは時々、つまみを口に運びながら真三の話を耳を傾けている。

「真三さん、マイコンというのはどのようなものですか」

「要するに外国語を勉強するようなことに似ている」

「そうですか」

「考えてみると、英語を中学生から高校、大学、社会人になってもやっているが、どうだろう」

「とても外国人と対等に話ができるレベルにはほど遠いんです」

「私も日常会話程度です。第二外国語のドイツ語になると、日常会話もできない。外国語をこれだけやっても話せるレベルは知れています。マイコンも同じですね」

「日本語でも方言で話されると、まったく通じないですが、マイコンも極端な言い方をすれば、まったく通じない。だからマイコンの一般論を聞いても、実際にはほとんど役立たない」

「レコード盤なら買って帰ると、メカに弱い親父でもすぐかけられるが、マイコンはノイローゼになりますね」

「真三さんが取り組まれた顧客管理ですが、生命保険会社で同じような話を聞きました」

「生保にとって顧客管理は大変重要ですよ。本社の大型コンピュータにソフトがありますが、それだけでは万一、災害でビルが崩れた時に失ってしまう心配があります。そこで予備をつくり、違う場所に厳重に保管しているんです。このためコンピュータは結構、コストがかかるんです」



（写真）川のせせらぎは美しいか（信者提供）

※この物語に対する読者の方々のコメント、体験談を左記のFAXかメールでお寄せください。
今回は「就職」「日本のゆくえ」「結婚」「夫婦」「インド」「愛知県」についてです。物語が進行する中で織り込むことを試み、一緒に考えます。
FAX：0569-3417971
メール：takamisue@akai-shinbun.net



著者・岡田 清治おかせいじ
一九四二年生まれ ジャーナリスト
（編集プロダクションNEXT108代表）
著書に『高野山開創二百年 いっぱいさん行状記』『心の遺言』『あなた社員 全能力を引き出せませう』『リヨンで見た虹』など多数

ことまで心配しませんが、擦り減ったり家人がなにかの拍子で壊したりすることも考えられるので予備をつくって別な部屋に保管しておかないと心配になります」

「真三さんは情報を大事にされているからですね」

「誰でも情報は大事ですよ。昔、親父が住所録を写して保管していたのを思い出しますが、人は予備をつくることによつて安心するんですな」

「手書きでは大変ですね」

「これもパソコンができて以来、バックアップといつて情報の保存を促しています。ソフトの予備、そしてそのソフトを使ってつくったデータ入りの予備、最低二つのディスクセットを普段、まったく使わない状態で置いておかなければならないのです。ディスクセット一枚1,000円もします。便利さを求めるということはお力ネがかかるということです。企業ならコストを下げるために機械化、コンピュータ化した方がメリットはあるだろうが、個人ではそう簡単にメリットは出てこない」

真三は仕事帰りにマイコンを買った店に立ち寄った。そこで専門学校でマイコン教室生徒募集のパンフレットを手にとった。ベーシックコースから国家試験受験準備コースまで週3回の4コースが記載されている。学費は入学金1万円と合わせて9万円とある。時間は午後6時30分～8時30分だからサラリーマンの真三には続けられない。

科目（マイコンとは）についての内容…マイコンコンピュータとマイクロコンピュータ、マイコンの現状と応用、マイコンの近未来とその発展、ソフトウエア、ハードウエア、ファームウエア、何故のCなのか？、各種プログラミングの言語比較、さらに科目としてプログラム（C言語を用いて）、マイコンの中身となっている。

真三はベーシックを基礎からみっちり学ぼうと思ったからお力ネと時間が十分でないと難しいということを知った。しかも第3外国語をマスターする根拠がある。当時、40歳の真三には絶望的だった。行政と産業界情報センターの共催で行うマイコンスクールもあるが、これは中小企業を対象としたもので3分の1以下の費用で受講できる。ただ内容的には大学の理工学部か工業高校出で実務経験者が対象になっている。要するに専門分野は市の催しでも費用と時間はかかる。

この日、店のフロロピイコースの教室に申し込んでいた。参加者は真三と合わせて4人だけで、見たところ30～40歳のサラリーマン風である。

「この中でフロロピイをお持ちの方は何人おられますか」講師がたずねた。

手を挙げたのは真三だけである。

「フロロピイも慣れてくると難しくありませんので、ぜひマスターしてください」

講師の話だと、前日から各デスクにマイコン、CRTディスプレイ、フロロピイを4組準備したという。受講者の一人はPC9800を会社で使用。真三の持っている機種の上の機種で、後の二人は富士通のFM7を自宅ですべて使っている。教科書は「仕事に役立つ実践BASIC」を用いる。フロロピイの概念はこの講座でつかめる。ただシーケンシャルファイル（順次読み出しファイル）の作り方については、その時は理解できたつもりでも、自宅でやってみるとうまくいかない。講習は午後5時まで続いた。

この講師がマイコンについて余談で話した時に、メーカーのなかには一つのモデル機種を売り出しても他のメーカーの動向を見て、すぐに新機種を出すところがあるが、このあたりはよく観察して買うことが大切だという。たえずモデルチェンジされるとユーザーが迷惑する。またマイコンを買いたいといふ相談を受けるが、何に使うのか目的をはっきりさせないと選択が難しいという。自動車でも荷物を運ぶのか、スピードを楽しまたいのかといったように用途に応じて選ぶように、マイコンでも目的に応じて機種を選択すべきだといふ。もっとも真三に言わせれば、自動車のようにイメージがはっきりしないので選択に困るわけで、普通ならゲームもしたいし、ビジネス用にも使いたいと広範囲の用途を考えると自然で、とくに個人使用の場合はそうである。沖電気のようにビジネス専用機種に限定しているところは、プログラムを作りやすいようにできているという。機種別のソフトとその内容を説明したパンフレットをメーカーは準備すべきだ。これは今流行のスマフォでも同じで、書店で売っている書籍を買わなければ、商品に付いている説明書だけではほとんど役に立たない。書籍は決して安くなくリスクが少なくない。ソフトも広範囲の機種に使えるよう、メーカーは考えるべきである。同じメーカーでもゲームソフトが使える機種とそうでないものも少なくない。ましてメーカーが違えばどうにもならない。

最近、総務省はスマフォの2年間縛りや通信費の値下げを要請しているが、社会主義国でないのだから通信業者、メーカーはもっとユーザーの立場に立ったことをしないと、世界から取り残される。

「確かに消費者が置き去りにされているように思いますわ。果物でも家で食べる時に中身が腐っているときがあります。面倒なのでそのまま捨てることも多いですが、返品するには領収書が必要で、時間や交通費を考えると、料金の返済だけでは納得できないことがあります」

「メーカーや流通業者、スーパーなど大量販売をするために商品を雑に扱っているように思える時がありますね」

「やはり過当競争の影響ですか」

「そうですね。これから人口減がいろいろなところに弊害をもたらすと思いますよ。どうしても人手不足のため従来通りのサービスを維持できないのです」

「モノだけではないですね。介護や老人ホーム、病院など命にかかわるところでも人手不足は深刻になっています」

「だから海外からの移住者を政府は緩和しようとしていますが」

「そうですね。日本も欧米並みに移民政策を考えなければならぬ時代が来るでしょう」

「今は観光客の増加に喜んでいますよ」

「C」を用いる。フロロピイの概念はこの講座でつかめる。ただシーケンシャルファイル（順次読み出しファイル）の作り方については、その時は理解できたつもりでも、自宅でやってみるとうまくいかない。講習は午後5時まで続いた。

絵手紙 第二集

わたしの好奇心

絵文 榎山善久

返文 小林玲子

榎山善久

昭和十一年碧南市で生まれる。
 丸栄陶業株式会社代表取締役。
 碧南商工会議所会頭。
 愛知県陶器瓦工業組合理事長。
 全国陶器瓦工業組合連合会理事長などを歴任。
 平成十三年藍綬褒章受賞。
 平成二十二年旭日小授章受賞。
 丸栄陶業株式会社取締役会長を経て相談役に。
 京都造形芸術大学・通信教育部芸術学部美術科・
 洋画コース大学院修士課程修了。
 平成二十九年六月碧南市藤井達吉現代美術館にて
 初の作品展開催。社名を栄四郎瓦株式会社に変更。
 独立美術展 入選二回
 岡崎信金資料館にて第二回個展開催

小林玲子

碧南市に育つ。
 西尾市在住
 共著「西尾の民話」
 童話「サケの子ピッチ」
 随筆「海辺のそよ風」
 (中経コラム「閑人帳」より)
 ミュージカル脚本
 「みぐりちゃんのおうち」
 童話集
 「タアタとバアバのたんけんたい」



対馬藩主家室の菩提寺・万松院

小春日か
 海が舞臺の
 対馬かな

危岐から対馬へと旅は続く。島は
 山林が多く、天然記念物ウツシマ
 ヤマネコが、現在百頭前後保護さ
 れている。釜山迄海上四九キロと
 隔て、海が大陸とのかけ橋であり、
 対馬を寄港地として、遣唐使や
 遣唐使は命かけてこの海を渡った。
 日本との親善使節、朝鮮通信使は
 対馬を治めていた宋家がその舞臺の
 裏を支えたが、菩提寺萬松院の
 見事な大杉と菅笠には敬慕される。
 島の歴史民俗資料館は韓国人で
 賑わい、街にはハンガルの文字があふれ、
 異国情緒漂う対馬であった。

御絵手紙嬉しく拝受致しました。
 本土の社寺とは異なる雰囲気のお絵が、
 対馬を語ります。
 釜山まで海上四九キロとは。
 今なら車で一時間ですが、海上交通は
 命がけ。それでも人々は往来したのですね。
 その勇気と情熱には、本当に敬服します。
 国と国との結びつきは、人間に始まり、
 人間に続きます。
 昔に思いを馳せ、只今の国交関係を、
 英知で解決したいものです。
 乱筆のま、御礼までに

かしこ

